

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報

・ 学籍番号	BN18210
・ 氏名	臼杵 壮一郎
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	生命科学科 医工学コース
・ 学年(渡航開始時)	4年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

・ 渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	デンマーク
・ 都市名	オーデンセ
・ 留学先大学名	University of Southern Denmark (SDU)
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2021年9月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022年1月下旬
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input checked="" type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	元来アメリカのローワン大学を希望していた。しかし、当時のフィラデルフィア州のコロナ感染者数の増加とトランプ政権の不安定さから1度目の延期に合わせて別の国を選択することとなった。また、自分が研究室選択をする際に、医工学から生命科学コースに変更したため、留学先の大学では、生物が学べること、学費が相殺になることを基準に志望先を再考慮した。また、以前芝浦で行われた "MIRAIプログラム" に参加をし、同じグループにいたノルウェー人と話す機会を持った。その時、北欧の教育システムや環境に興味を持ったことと、北欧の方々の英語力の高さを知りました。以上のことから、留学先をSDUとし、学習環境をデンマークにした。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について

・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであったり、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	システム理工学部の国際プログラムの学生として留学したため。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

日本とデンマークの大学教育はかなり異なります。授業数は多くはなかったが、1科目基本週4時間なので、ボリュームは非常にあります。また、授業のスタンスとして、学生自身の意志が強く尊重される。そのため、どの授業も出席はとられなうえ、宿題は出ません。授業に休むのも、途中から帰るのも来るのも自由。宿題は出ませんが、指定の教科書の授業で取り扱う範囲(数十ページ)とお勧めの教材が毎回伝えられます。スタンスは楽ですが、予習したりするのはかなり膨大になりますし、テスト範囲も不明瞭です。先生との距離は近いので質問等はすぐできます。グループワークも多く、日本ではそれが点数化されますが、デンマークはあくまで学ぶ手段としてグループワークを用いるので、英語のコミュニケーション能力だけでなく、人としてのコミュニケーション能力も必要です。また、デンマークの期末テストでは口頭試問で行われることも珍しく無いです。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Statistics	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	R言語を用いて実際にコードを組み立てながら、統計の本質を学ぶ。R言語を持ちて、グラフのデザインだけでなく、実際に色々なデータからどの統計処理、検定処理を用いるかをグループで話し合ったり、発表を通して学んだ。最後はコードを作成してのオンラインでのテストと実際に自分がネット上からデータを拾ってきて、さまざまな方法で検定を行う最終課題を持って成績評価がなされる。		
科目名②	Chemical Prosess Design	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	グループワーク中心の化学工学の授業。化学プラントなどで、さまざまな物質を生成、抽出する際のエネルギー効率や費用、時間を計算しデザインする。前半は、基礎知識を講義で学び、後半は、各班に分かれ与えられた課題から、自分達で、化学プロセスをデザインし、それを発表する。テストは、口頭試問で、課題の発表10分、その課題に対しての質疑応答10分と、グループの課題提出内容を判断して評価される。		
科目名③	Design of Ideal Chemical Reactors	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	化学工学をベースにした授業。化学工学のPFRやCSTRを用いて、反応速度やエネルギー保存の観点から化学反応を考える。授業は週4時間で、2時間を講義、2時間を問題演習とし、週2日授業があった。テストは筆記問題で、過去問や丁寧に説明があったのでそこまでフォローに苦しむことはなかった。		
科目名④	Business Economics and Managment	単位数 (現地単位数)	5
科目概要	前半は経済学、そして後半はマネジメントで計算がメイン。授業は、週4時間で、講義中心の授業。授業で使う教科書のページ数がとても多く、経済学とマネジメントの2冊なので範囲はとても多かった。また、内容も非常に重たく、ついていくのがとても大変。また、口頭試問での評価で膨大な範囲からあらかじめ50問ほど問題内容が明かされていたが、それでも多く大変でした。文系科目は理系にとってあまり馴染みのある分野ではないので少し履修の際は気をつけたほうが良いと感じる。		
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

是非、自分から色々誘ってみてください。寮にいる留学生とはアクティブにご飯やスポーツ等に誘ってくれるので、基本スタンスは断らずできるだけ参加するようにしていました。しかし、デンマークを含む北欧の人はヨーロッパの中でもシャイということが共通の認識で、距離感としても良くも悪くも日本人に近い感覚を持っています。なので、外でも授業でもデンマーク人から話しかけられることは滅多に無いですし、授業でもグループワークがあって初めてお互いを知ることも少なくありません。しかし、彼らは日本人と違い英語が話せない人は誰もいないうえ、とても親切なので是非自分から声をかけてみてください。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

自分自身の価値観や考え方がこのデンマーク留学を通して大きく変化しました。アジア人がほとんどいない環境下に身を置き、専門科目を履修する中で、多くのディスカッションや講義を受けたり、多国籍な人と生活をしたことで、将来国際的な理系人材としての自信と覚悟できたと感じます。今後就職をするか、アカデミックに進むのかは決まっていますが、選択肢の中に日本の企業や大学を選ぶのと同じように海外に出る選択肢も増えたことが何よりも成長だと感じます。また、デンマークという環境が自分の中での価値観にも変化を与えました。デンマーク個人々々を見た時、距離感やシャイな部分は日本人に似ています。しかし、大きく違う部分として、多様性を重んじ個人の意見を尊重します。大学の授業でも私生活であっても、彼らはよく意見を求めます。そして、意見の違いは理由を持って議論をします。加えて、自分がどうしたいかがとても大事で、授業も学生個人の意欲を大切にしています。また、それは仕事やライフスタイルなどにも多く反映されていると感じました。ヨーロッパの学生の口から発せられる将来のビジョンには、自分のやりたいことが反映され、そこには、"だって自分の人生だから"という意味が内在していました。そこから、自分の意見を持つことの重要性やそれが周囲に与える影響を深く学びました。日本とどちらが良いというわけではなく、どちらも知った上で、自分はどちらを選ぶかが大切です。今後多国籍の人と関わりを築くなかで、色々な考え方や文化を知っていることは大いに役立つはずで、留学を迷っている学生は是非挑戦してください。多くの国は文理関係なく英語を用いそして、英語を使って自分の考えを深め意見を共有します。そして、皆さんのような日本の思考や発想を英語を通して知りたいと思う海外の学生が多くいます。既に知っている知識を共有して、また新たな知見を海外で吸収してみませんか。自分のようにきっと今後の人生に役立つ新たな思想や価値観に出会えるはずで、また、何か困ったことがあれば周囲のデンマーク人を頼ってください。多様性を重んじる彼らは、フラットに優しく接してくれます。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

デンマークはIT社会で、また、留学生も受けられる保証が多いことから入国前と後に登録しなければいけないことが結構ある。しかし、登録してしまえば、その恩恵を受けられ、便利なことも多いので、早めにかつ必ず登録すること。また、英語が通じるので困ったことがあれば、SDUが市役所等に直接電話やメールをしてみてください。自分は、出発の2ヶ月前に渡航許可が降りて、そこからほとんどを準備しなにか間に合ったので、最後まで諦めずに、出来るだけ早くに取り掛かることをお勧めします。
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ、オンライン型は記入不要です。)

デンマークの居住許可証(ビザ)を発行する際、オンラインで書類や情報を登録必要がある。その際、先にSDUが基本情報を国に対してオンラインで登録したのち、学生本人が行います。そのため、SDUから登録完了のメールが届き次第速やかに行うこと。そして、登録情報をもとに指紋や顔写真をビザセンター(浜松町)で登録する必要がある。ここで注意なのが、ビザセンターの予約が繁忙期だと1ヶ月先まで予約が取れないこと、登録してもビザが手元に来るまでに1ヶ月以上かかるので、オンラインでビザを登録し終わっていない状態でも、ビザセンターの予約だけでも先にしておいた方がいい。
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

自分はコロナでデンマーク入国までに居住許可書が間に合わなかった。3ヶ月間は、滞在できるため一度入国し、その後居住許可書を揃えてください。入国後オーデンセ市役所にCPRナンバーとイエローカード(保険証:医療費、PCR無料になる)を居住許可証を持って必ず行う必要があります。これが無いと不便なので必ず登録してください。担当者に問い合わせると、居住許可書はコピーでも良かったため、日本からPDFをメールで送ってもらいそれを提出。入国後5日以内の申請との記載があるが、自分は一週間を過ぎての申請でした。

滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

協定校と関係を持つ寮(SDUとは別の農業学校が運営する寮)
Dalum landbrugsskole
- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか?(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

コロナの影響もあり、サイトを使って自分で申し込みをするように依頼された。しかし、幾度もサイトを通じてコンタクトをとってもなかなか決まらず、出発前夜まで宿泊先が決まらなかった。もし、宿泊に関して困っていることがあれば、SDU内に宿泊(デンマーク人留学生問わず)を取りまとめている部署があるのでそこに直接コンタクトを取ったり、BUDY制度がSDUにもあるので申請して上手く活用してください。
- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。

BUDYのピックアップと共に、オーデンセ駅からバスで20分
- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか? 交通手段や所要時間を教えてください。

自転車です15分
- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

広さはそこまで広くはなく、他の大学生が騒げば筒抜けなほど、静かな環境とまでは言えない。ですが、水道、電気、ネット、暖房それに、3食のご飯がついての宿泊料金なので物価が比較的高いデンマークではかなり高待遇で、食堂でご飯を取るのそこでまたコミュニティを広げることができた。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥107,300	ドバイ経由で日付変更可の往復で購入
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥88,370	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥5,060	書類を忘れコピー代金1枚¥60
計	¥200,730	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥71,400	光熱費、食費込み
食費/月	¥0	
その他/月	¥30,000	遊興費
計	¥101,400	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥0	
業務スーパージャバンドリーム財団	¥150,000	
計	¥150,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

大学のメイン入り口。
デンマークでは、移動手段として自転車がポピュラーなので、
大学生の多くは自転車で通学します。

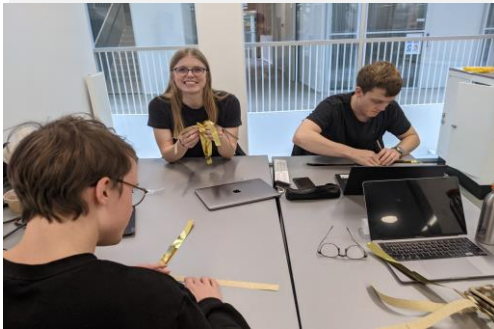
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

オーデンセ市内の様子

その他、任意の写真



説明文

グループワークの途中でクリスマスの装飾をみんなで手作り。
グループワークではいつも
デンマークと日本の文化を教え合う場になっていました。

その他、任意の写真



説明文

オランダ人の友人の家に遊びに行ったときに
友人の家族と一緒に撮った写真

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。